



平成 26 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 新潟交通株式会社
代表者名 取締役社長 佐藤 丈二
(コード番号 9017 東証第二部)
問合せ先 執行役員総務部長 今城 哲
(TEL. 025-246-6335)

特別損失の計上および個別業績予想と前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 3 月期決算において、下記のとおり保有固定資産の減損損失を計上するとともに、直近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 3 月通期の個別業績予想につきまして、下記のとおり前事業年度の実績値と比較して差異が生じる見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上について

当社が賃借を目的として新潟県佐渡市に保有する建物および新潟市に保有する土地の時価下落等により、平成 26 年 3 月期の通期決算において特別損失として 175 百万円の減損損失を計上することといたしました。

2. 平成 26 年 3 月期個別業績予想値と前期実績との差異 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円 9,628	百万円 994	百万円 283	百万円 △2,285	円銭 △59.44
今回発表予想 (B)	10,906	1,683	876	462	円銭 12.03
差異額 (B-A)	1,277	689	592	2,747	—
差異率 (%)	13.27	69.29	209.23	—	—

3. 差異の理由

個別業績の予想につきましては、開示を行っておりませんが、平成 25 年 5 月 15 日に開示いたしました「平成 25 年 3 月期決算短信」に記載のとおり、前期は、子会社の吸収合併に伴う多額の抱合せ株式消滅差損の計上等により当期純損失を計上いたしました。が、今期は、子会社吸収合併効果による収入の増加や運輸事業が好調に推移したことから、営業・経常利益とも前期実績を上回り当期純利益を計上する見込みです。

なお、連結における平成 26 年 3 月期通期業績予想については、現在精査中であり、決定次第お知らせいたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績とは異なる可能性があります。

以 上